

交流情報誌

季刊

新

往来

第17号 2005. 6.17

編集・発行
農林水産省 農村振興局 農村政策課



仁王御輿と勇壮な裸若衆
飛騨小坂力持小太郎火祭り

伝承芸能の保存継承へ向けて
第8回かしま伝承芸能フェスティバル



豊作の祈り
おんだ祭り



わがまち自慢 . . . 3

- なべくら高原・森の家が「365日信州野遊び宣言」を
発行 (長野県飯山市)
- 町の歴史をもっと楽しく! 「板額会」 (新潟県中条町)
- 根尾谷淡墨桜 (岐阜県本巣市)
- 「南京桃」は伊丹の特産品 (兵庫県伊丹市)
- 地球の歴史が一目で分かる岩脈 (広島県因島市)
- 湯来ふるさとプロジェクト (広島県湯来町)
- 足摺宇和海国立公園「滑床渓谷」 (愛媛県松野町)
- 五島のツバキ (長崎県五島市)
- 霜宮火焚神事 (熊本県阿蘇市)

わがまちの旨いもん . . . 6

- どんこ料理 (岩手県宮古市)
- 自然がはぐくむうまい酒 (茨城県大洗町)
- 高砂名物「にくてん」 (兵庫県高砂市)
- マスカット・オブ・アレキサンドリアのワイン
(岡山県船穂町)
- 「安政柑」発祥の地 因島に記念碑設立 (広島県因島市)
- 広島の自然の恵みを皆様に (広島県竹原市)
- ネット通販日本一になった大福 (愛媛県四国中央市)
- 「冷し中華(涼麺)」を佐賀の名物に (佐賀県佐賀市)



山鹿灯籠まつり(熊本県山鹿市) p18

- 表紙の写真
上段: 飛騨小坂力持小太郎祭り(岐阜県下呂市) p16
中段: 第8回かしま伝承芸能フェスティバル(佐賀県鹿島市) p17
下段: おんだ祭り(熊本県阿蘇市) p18

私達、輝いています . . . 8

- 地産地消! 農業応援団倍増計画実施中
まるごと江別グルメ会 (北海道江別市)
- 昭和通りのおかみさんもてなしたい(隊)
(岩手県宮古市)
- あさひより、美味しさ発信「食彩 あさひ」
(富山県朝日町)
- 牧田子育てグループ 牧田あそび塾の開催
(岐阜県上石津町牧田地区)
- 女性パワーで特産品づくりに挑戦(三重県伊賀市島ヶ原)
- 潤いある花と緑の島づくりの会「ささゆりの会」
(兵庫県家島町)
- 東風グループ (高知県安芸市)
- 池川遊遊会 (高知県池川町)
- 土佐のハチキン娘(?)の美味しいレシピ
(高知県夜須町)

交流・連携通信 . . . 11

- 棚田の保全活動 (長野県小川村)

アンテナショップ情報 . . . 11

- 東村山市農産物直売所マップ (東京都東村山市)
- 地産地消の活動グループ「滑川ひかる市運営協議会」
(富山県滑川市)
- リニューアルオープン「旧正野薬店」 (滋賀県日野町)
- わかやま喜集館 (和歌山県)

イベント情報 . . . 13

- 平成17年7月から平成17年9月までの期間に全国各地で
開催が予定されているイベントの情報

農村振興局からのお知らせ . . . 19

- あなたの地域の活動も「立ち上がる
農山漁村」に応募してみませんか

- 美しいふるさとづくりへ向けて

~ 景観農業振興地域整備計画を策定しませんか ~

わがまち自慢

全国で唯一のもの、自称日本一のもの、ぜひ知ってもらいたい活動や人など、地域からの自慢情報を紹介します（人（グループ）、施設、風景、自然、生き物などジャンルは問いません）。

なべくら高原・森の家が「365日信州野遊び宣言」を発刊

長野県飯山市

信州最北の飯山市なべくら高原にある自然体験型宿泊施設「なべくら高原・森の家」は、1997年、全国のグリーンツーリズムの先駆けとしてオープンしました。四季を通じた田舎体験メニューの提案、ブナの森の保全活動、新感覚なウィンタースポーツの提案などを独創的に行っています。2004年からは、里山と集落ひとつをまるごと再生する企画「来らっせ！オラほ村」にも取り組みながら、新しい野遊びを提案しています。

その「なべくら高原・森の家」が、このたびファッションブルなアウトドアに飽き足りない自然派待望の野遊びガイドブック「365日信州野遊び宣言」を発刊しました。全国の自然体験をリードする「なべくら高原・森の家」の野遊びレシピが今、あなたの手に！

<http://www.iiyama-catv.ne.jp/~morinoie/>

- お問い合わせ先：なべくら高原・森の家 TEL:0269-69-2888 FAX:0269-69-2288



町の歴史をもっと楽しく！「板額会（はんがくかい）」

新潟県中条町

「板額会」は、町の歴史に登場する女武者「板額御前」というキャラクターにスポットを当て、世代を超えて楽しめるイベントを企画運営している会です。郷土の歴史になじみのない若者や子ども、町外から移住してきた方にも、町の歴史を知ってもらいたいという思いで、有志が集まり発足しました。

メイン・イベントは毎年9月に開催される「中秋の名月・板額の宴」。甲斐国に嫁いだと伝えられる板額御前が里帰りしてくるのを、宴を張って迎えるという設定です。手作りの鎧で衣装した武者行列が町を練り歩き、かがり火を焚いた特設会場では地元の「獅子舞」など伝統芸能が披露されます。また、武士の食事を再現した弁当が、当日に限って販売されます。見て食べて参加して、歴史を体感できるのが最大の魅力。「板額御前」役を務める女性は、2年ごとに行われる「板額御前コンテスト」で、職場の応援や観客の支持を得て選ばれます。イベントの他、交通指導や写真会のモデル、TV出演など、町のヒロインとして活躍しています。

<http://www.town.nakajo.niigata.jp>

根尾谷淡墨桜

岐阜県本巣市

継体天皇お手植え伝説が伝えられているこの桜は、大正11年、国の天然記念物に指定されています。昭和24年、前田翁により山桜が238本根接ぎが行われ、また作家宇野千代女史による桜保護の訴えから近年の回復術等により、幾度とない枯死の危機を乗り越え不死鳥のごとく蘇りました。

老樹は、蕾にあってはピンク、満開時には白く、散り際には淡い墨色を帯び、毎年春には多くの観光客の目を楽しませてくれます。花の季節以外にも訪れる人は多く、年間約20万人の観光客が訪れます。その幹、枝からは1500余年の命を感じることができます。

<http://city.motosu.gifu.jp/>



「南京桃」は伊丹の特産品

兵庫県伊丹市



兵庫県伊丹市の北部地区は古くから花木や苗木づくりの盛んな土地柄です。花木の接木技術は卓越したものがあり、古くから隣接する宝塚市の山本地区とともに、この地域は日本の三大植木産地といわれています。

「南京桃」は中国原産の八重咲き花桃で、約150年前から当地で育てられた特産花木です。この桃は、接木により1本の木から「赤」「白」「ピンク」の3色の花が咲きます。1年目の早春に台木を育て、2年目の秋「芽接（めつぎ）」を行い、さらに翌年の夏には「枝曲げ」といった根気のいる農作業を経て接木枝先を台木の根本にワラで引っ張り「枝垂（しだれ）桃」の形になるよう3年がかりで仕上げ鉢植えにします。

伊丹から全国へ出荷されており、関東では「あめんどうもも」とか「寿星桃（じゅせいもも）」と呼ばれているようです。市の特産品としてJA兵庫六甲・南京桃ブランド化実行委員会が毎年3月初旬に即売、郵パックで全国郵送もしています。<http://www.city.itami.hyogo.jp>

地球の歴史が一目で分かる岩脈

広島県因島市

因島市の北部に位置する鏡浦町の海岸に「花崗岩質岩脈」があります。この岩脈は、約9000万年～8000万年前に形成されたもので、堆積岩類中にマグマが南北方向にほぼ垂直に貫入しています。

岩脈の主脈部分は、北端では約2mの幅で多少の膨縮を繰り返しながら、南に約120mにわたって連続しています。主脈から分かれた支脈は、幅数cmの細脈となっています。また、この露頭（岩石・地層などが地表に露出している部分）の北端から約60m南では、淡緑色のランプロファイヤー岩脈が堆積岩類と花崗岩質岩脈を約1m幅で垂直に貫入しています。

このような露頭は、広島県南部の地質現象を代表する典型的なもので、広島県指定文化財（天然記念物）となっています。学術的にも価値が高いものとされ、注目を集めています。

海上から見ると、黒灰色の粘板岩の中に白色の120mにおよぶ見事な岩脈が貫入していて、それが海の青と山の緑に映え、見る人をひきつける景観です。

干潮時（旧暦24日が適日）には、海岸に沿ってこの岩脈を目近に観察できます。



湯来ふるさとプロジェクト

広島県湯来町



湯来町は、平成17年4月25日に広島市と合併し、佐伯区の一員になりました。「広島市になっても、湯来の良いところを守り広めよう」「湯来をより元気な地域にしよう」という思いをもった有志が集まって、合併が迫った平成17年2月に「湯来ふるさとプロジェクト」ができました。

メンバーは20代から70代の25人。一番若いメンバーを代表に、4月17日に開催する合併記念イベント「ゆきメッセ」を主催することになりました。開催まで期間がありません。毎週木曜日午後7時に集まってイベント内容を相談したり、土日には手弁当で作業を行いました。



「ゆきメッセ」のサブタイトルは「来て！見て！体験！湯来の自慢が大集合」です。イベント当日はこのタイトルのとおり、湯来町のいろんな自慢が販売、展示、ステージ発表され、5,300人ももの来場者で賑わいました。さらに、はげ山の町有地「狐原山」を桜の森にしようということで、湯来町長、広島市助役を含め約200人の方に桜・くぬぎ・カエデの苗木を植樹してもらいました。10年・20年後の狐原山がとてもしみになりました。

湯来ふるさとプロジェクトの真価がとわれるのは合併後です。自分たちの手で「ふるさと・湯来」のために、これからいろんな活動を展開する予定です。

足摺宇和海（あしずりうわかい）国立公園「滑床溪谷（なめとこけいこく）」 愛媛県松野町

「滑床溪谷」は四万十川の源流のひとつ、鬼ヶ城山系に抱かれた12kmにおよぶ溪谷で、足摺宇和海国立公園に指定されています。花崗岩の河床が特徴で、随所にみられるこの美しい滑状の自然景観が滑床の地名の由来となっています。

中でも、巨大な岩肌を流れる「雪輪の滝」は、日本の滝100選にも認定されている美しい滝で滑床の象徴でもあります。幅20m長さ80mの姿を眼前でみることはできませんが、実全長は300mもある壮大な滝です。

溪谷は1,000m級の山々に囲まれた中に位置し、溪谷探索もさることながら、登山を楽しむ滑床ファンも数多く存在します。新緑紅葉や春のシャクナゲ、ブナの原生林などに加え、



山々の上から一望できる宇和海と豊後水道の雄大な姿は爽快です。

滑床にある町営の「森の国ホテル」は、赤い大屋根が特徴の山岳リゾート風ブチホテルです。ゆったりと大自然の中で過ごすには、ぜひ1泊されることをおすすめします。 <http://www.town.matsuno.ehime.jp/>

五島のツバキ

長崎県五島市



五島列島は、長崎県の最西端に位置し、5つの島を中心に大小140の島がつながっており、五島市は、そのうちの3つの大きな島である福江、久賀、奈留からなっています。

五島列島には古くからツバキが多く自生し、ツバキ油の生産が日本一になったこともあります。現在でもツバキは島内あちこちに見られますが、特に久賀島は古くからツバキの伐採が禁じられ、今でもツバキの保護条例があるなどツバキの木を大切にしてきました。このため、巨木や原生林が数多く残っていますが、その中でも手近に見ることができるものをご紹介します。

福江港からフェリーで30分、久賀島の田ノ浦港には根回り2.5mの4本立ちの大ツバキがあります。すぐ近くには1万本ものツバキが群生する亀河原ツバキ原生林やツバキのトンネルがあり、田ノ浦から徒歩による見学が出来ます。見頃は春先が一番で、ツバキのみならず春の花が満喫できます。

皆様方のご来島とご見学をお待ちしています。

霜宮火焚（ほたき）神事

熊本県阿蘇市

この神事は国の重要無形文化財に指定されており、8月19日から59日間、鬼八法師の怨念を静めるため、火焚き乙女に選ばれた10歳前後の少女が火焚き殿にこもって、稲穂が実るまで霜の害が起きないように豊穰を祈願する神事です。

霜神社の祭神は、天津神、天の七星、鬼八天など、いろいろな説がありますが、健甕龍命と鬼八の物語から、命に斬られた鬼八の首が寒さで痛むのを暖めて、霜害を防ぐためだと伝えられています。

<http://www.city.aso.kumamoto.jp/content6/class5-a-1.php>



わがまちの旨いもん

地域の特産物や名物料理（レシピ）の紹介など、「食」について紹介します。

どんこ料理

岩手県宮古市

宮古・下閉伊地域で比較的多く水揚げされるユーモラスな魚「どんこ（エゾイソアイナメ）」。「主に地元中心に親しまれてきた魚で、見た目は少々グロテスクですが、身は白くて淡泊、特に冬場の肝は濃厚。地元ならではの地魚をぜひご賞味ください。「どんこ料理」と書かれたのぼりのあるお店で食べることができます（要予約のものも有）。

自然がはぐくむうまい酒

茨城県大洗町

日本三大民謡の一つ、磯節の発祥の地大洗町には、関東の清流那珂川が太平洋にそそいでおり、その伏流水を活かして町内の造り酒屋で造られている地酒があります。古くから漁師町の文化に溶け込みながら愛飲されてきました。現在では、地元産有機栽培米を使ったオーガニック清酒造りにも挑戦しています。

また、農産物の安定した出荷を目指し、加工品開発を検討してきたJA水戸大洗野菜生産連合会では、大洗町の特産品、「紅あずま」を原料とした芋焼酎を試作しました。常圧単式蒸留法という昔ながらの製法で、丹念に醸した原酒をじっくりと甕（かめ）で貯蔵し、すっきりまるやかに仕上げました。



高砂名物「にくてん」

兵庫県高砂市

「にくてん」とは高砂流のお好み焼きで、薄く延ばした生地にしじ肉やキャベツ、甘辛く味付けされたジャガイモをたっぷりとのせ、甘めのソースをぬり、半分に折って食べます。

昨年、市内のお好み焼き屋さんによって「にくてん喰わん会」が結成されて、にくてんが10%オフになる会員証を発行したり、兵庫県立松陽高校の生徒とともに「にくてんMAP」を作成、ホームページを作成するなどPR活動をしています。また市立曽根小学校の児童らが、「にくてん」のイメージソングを作成するなど、市内全体で盛り上げています。<http://www.winwin.ne.jp/~takasago-cci/nikuten/>

マスカット・オブ・アレキサンドリアのワイン

岡山県船穂町

船穂町は、約百戸の農家が加湿マスカットの全国約4割を生産しているブドウの町です。

そのマスカットをふんだんに使用したワインの製造を目指して、平成16年7月に設立された第3セクター『ふなおワイナリー』では、秋に搾ったワインの熟成が進んでいます。年間8,000本程度の製造販売をしており、地元の方を始め皆さんに愛されるワインづくりを目指しています。<http://www.funaowinery.com>



「安政柑」発祥の地 因島に記念碑設立

広島県因島市

柑橘の文旦の仲間である「安政柑」発祥の地といわれる因島市田熊町で、平成17年3月2日「安政柑発祥之地」記念碑の除幕式が行われました。

安政柑は今から約140年前の安政年間（1854～1860）に、田熊村の岡野末吉さんの畑で発見されたものです。当時、南方貿易により伝わった果実が因島に持ち込まれることもあり、それらと因島の柑橘類が自然交雑し安政柑が生まれたのではないかと考えられています。

おいしい時期は3月下旬から4月上旬、1玉およそ1kg前後と大きく、さっぱりとした淡白な味、水気が少なくポロポロとした食べ応えに、ハッサク同様根強い人気がある果実です。



広島県の自然の恵みを皆様に

広島県竹原市



竹原市は沿岸部のほぼ中央に位置し、瀬戸内海の豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。竹原市周辺の山林には、椿、ソヨゴ、桜、アカシアなどの広葉樹が豊富で、次々と咲く山野の花はミツバチ達にとって最高の環境となっています。

尾崎養蜂場は広島県内で愛するミツバチを連れ「雨にも負けず風にも負けず、遅霜にも負けず」季節の花を追いかけ、採れたままの天然のハチミツを皆様へお届けしています。販売しているハチミツの種類、特徴は次のとおりです。

- ・ 春らんまん蜜：4月に菜種、桜から採蜜。甘味が強く高濃度。
- ・ ミカン蜜：5月ミカンから採蜜。あっさりとした甘味。
- ・ ソヨゴ蜜：6月に山中のソヨゴから採蜜。有色でミネラルに富む。
- ・ 百花蜜：5月～7月にアカシア、ハゼ、リョウブから採蜜。おとなしい風味。
- お問い合わせ先：尾崎養蜂場 TEL:0846-22-2866

ネット通販日本一になった大福

愛媛県四国中央市

愛媛県四国中央市新宮町の観光施設「霧の森」内にある「霧の森菓子工房」で製造されている「霧の森大福」。この大福は、地域をあげて無農薬でお茶の栽培に取り組む新宮町で、丹精込めて育てた特産品の「新宮茶」の中から特に手間を要する「かぶせ抹茶」をお餅に練り込み、あんとかさひかえめの生クリームを包んだもので、抹茶のほろ苦さとこしあんとかさひかえめの程よい甘さが大評判です。

インターネット通販で日本一となり、今では入手困難。幻の大福とまで言われています。 <http://kirinomori.com/>



「冷し中華（涼麺）」を佐賀の名物に

佐賀県佐賀市



佐賀市では、佐賀平野の肥沃な土壌で育まれた新鮮な野菜や佐賀牛、有明海の手取海苔など、佐賀の豊富な食材を利用した「冷し中華（涼麺）」を佐賀市の名物料理にしたいと考え、「冷し中華キャンペーン」に取り組んでいます。

昨年の夏は、40軒の飲食店が地元の食材にこだわった冷し中華を掲載したアイデア満載のガイドブックを作成し、スタンプラリーや人気コンテストも行いました。また、秋の「佐賀国際バルーンフェスタ」や春の「佐賀城下ひなまつり」でも冷し中華キャンペーンを実施しました。

ラーメンと言えば福岡、ちゃんぽんと言えば長崎。二大麺王国に挟まれた佐賀市は地元産の食材を活かした「冷し中華」の町として勝負していきます。 <http://www.city.saga.saga.jp>

私達、輝いています

地域で活躍している女性（グループ）の取り組みを紹介します。

地産地消！農業応援団倍増計画実施中 まるごと江別グルメ会

北海道江別市



石狩平野の中央部に位置した江別市は、主流の石狩川が市域を貫流した、緑あふれる自然の豊かなまちです。その全面積の約4割は農地であり、小麦の作付けが最も多く、春まき小麦「ハルユタカ」の初冬まき栽培技術は、各界からも注目を集めており、「麦の里えべつ」として全国発信を続けています。

ここ江別市で、一人でも多くの消費者に地元で生産された農畜産物を知ってもらいたい、新鮮、安全な食材を利用してもらいたいとの思いから、市民を対象とした料理講座を実施しています。毎年5月から翌年3月まで、月1回料理講習会を行いながら、農業への理解と交流を深め今年で4年目となり、毎年定員以上の受講生が集まり好評を得ています。料理のメニューは全て会員のオリジナル料理がメインで、年間30名を受入れ、70名以上の市民が現在まで卒業しています。



グループは農業者と消費者応援団（農外）で構成され、農閑期の講習会は農業者が講師、農繁期は応援団が講師となり地元野菜のPRを行っています。この活動により、生産者の顔が見える本当の意味での信頼関係を築きながら、農業の良き理解者、農業応援団を増やして行こうと奮闘中です。<http://www.agri.pref.hokkaido.jp/fukyu/isc/index.html>

昭和通りのおかみさんもてなしたい（隊）

岩手県宮古市

中心市街地の活性化が問題となっているなかで、宮古市中心部の商店街の女性有志が「昭和通りのおかみさんもてなしたい（隊）」を結成。昭和の面影を残す街並みを生かした店の陳列や音楽、真心の接客で昭和30-40年頃の雰囲気を実現しました。幅広い世代の郷愁を誘い、当時のにぎわいを取り戻そうと活動をしています。

http://www.iwate-np.co.jp/news/y2003/m09/d06/NippoNews_11.html

あさひより、美味しさ発信「食彩 あさひ」

富山県朝日町



私達「食彩 あさひ」は、平成16年5月7日に朝日町内の農林水産加工グループ9グループ35人が出資して設立した農事組合法人です。

主な活動としては、金糸瓜などの野菜、山菜を使用した漬物や町内産大豆によるこだわりの味噌の製造、仕出し弁当、よもぎの草団子、もちなど町内で作られた農産物を加工し、販売しています。また、多くの方々に朝日町の「自然の味」、「ふるさとの味」を知っていただきたいと思い、各種イベント等で出店販売も行っています。

設立してからまだ1年ですが、全国の方々に富山県朝日町の味を知っていただきたいと思い、がんばっていますので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄り下さい。<http://www.asahimachi.com/syokusai/index.html>

● お問い合わせ先：食彩 あさひ 富山県下新川郡朝日町山崎296 TEL:0765-82-1093

牧田子育てグループ 牧田あそび塾の開催

岐阜県上石津町牧田地区

「夏休みや冬休みなど、長いお休みのとき、子どもだけのお留守番。友達と遊べない寂しさ、物足りなさを少しでも充足できれば。また留守を預かるおじいちゃんやおばあちゃんにもちょっと一息の時間ができれば。」そういう思いから、牧田地区ふるさとづくり「子育てグループ」（代表：肥田円さん）が夏休みや冬休みに「牧田あそび塾」を開いています。

このあそび塾は牧田地区に住むお母さん方が中心となり、平成16年8月から始まった活動で、今までに9回行われています。毎回、10人～20人の子



供たちが参加し、凧作りやかるた、どろだんごづくりなど地元の方を講師に招き、昔ながらの遊びを教えてもらったり、流しそうめんや豚汁づくりなどの料理をしたりと充実した休みを過ごしています。

「今は、子どもの数が減ってみんなと一緒に遊ぶことが少なくなっています。こういった活動を通してのびのびと育ててほしいです。準備などは大変ですが、これからも続けていきたいです。」とリーダーの肥田さん。これからも活発な活動が期待されます。

<http://www.ip.mirai.ne.jp/~satoyama/kamiishizu/>

女性パワーで特産品づくりに挑戦

三重県伊賀市島ヶ原



島ヶ原地区では農家女性による特産品づくりの活動が盛んで、「キュウリの粕漬け」は有名な特産品として知られています。平成17年2月に地区の交流拠点施設である「島ヶ原温泉やぶっちゃん」内に特産品加工施設が整備され、新たに設立した組織「しまがはら里づくり交流促進会」には、地元農家等から約

50名の女性が参画し、8グループ単位で地域の特産品の加工に取り組んでいます。

特産品は「キュウリの粕漬け」の他「手づくりコンニャク」「よもぎもち」「お菓子」などにも取り組み、原料を吟味した手づくりの味が来場者に特に好評で、日によっては品切れになる商品もあります。また、施設内には体験工房も整備されており、女性グループが講師となり来場者の農産物加工などの体験も可能となっています。

さらなる特産品づくりの研究や加工体験の内容充実のための研修会を行い、女性パワーによる地元農産物を生かした地域の活性化を図っていきます。<http://www.yabutcha.com/>

潤いある花と緑の島づくりの会「ささゆりの会」

兵庫県家島町

家島町坊勢地区では、「潤いある花と緑の島づくり」を目的として、主婦を中心にメンバーが集まり地域の清掃、公園・広場等の花木の植栽や維持管理を行っています。

また、季節折々のきれいな花が咲く坊勢海浜公園に地元（男鹿島）産出の花崗岩を使った花壇やベンチ・テーブル等を設置し、お年寄りや小さな子供づれの家族に憩いの場を提供しています。

小学生と一緒に花を植えたり、雑草を刈ったりしながら、地域のコミュニティづくりを行い、坊勢島が優しさ



東風グループ

高知県安芸市



平成15年6月、安芸市入河内（東川地区）のコズ農家の女性を中心になって、「東風グループ（代表：有澤満子、会員6名）」を結成しました。東川地区が元気になるための風になりたいとの思いを込めてグループ名を決め、地域の農産物に強いこだわりを持って加工活動をしています。

商品の中でも、実生コズを使用した合わせ酢は、寿司や和え物のほかドレッシング代わりににも使えることから大変好評で、量販店や土産物店、東京のアンテナショップのほか、口コミで県外からの注文も入り、みなさんにさわやかな風をお

届けできるよう頑張っています。

お客さんとのふれあいも大切にしており、量販店やイベントでの試食宣伝にも積極的に出かけています。また、メンバーは勉強熱心で、女性が元気、地域が元気なところへ視察に出かけ、新商品の研究や地域づくりに力を尽くしています。

池川遊遊会

高知県池川町

「人と交流するのが楽しくて。池川の良さをもっともっと多くの人に知ってもらいたい」と町内の「世話好き」の主婦が集まり、「池川遊遊会」ができました。農村と都市との活発な交流を図るため、また地元住民の生きがいづくりの場所を提供するために狩山安居集落をおもな活動場所として、イタドリ狩り、山のお月見、芋掘り、農家体験、木工教室などを行っています。

池川町北浦にある「木と人交流館木どり家」で毎週予約の入った金・土・日曜日に木工体験ができます。工房は杉やヒノキの間伐材などを準備し、お客様の作りたい物を紙に書いてもらい、イメージができたところでメンバーが寸法を合わせた材料を提供します。お客様は手ほどきを受けながらテーブルや椅子などを製作し、世界に1つだけの木工製品が出来上がります。

「核となる中心施設がほしい」との要望から設立された木どり家は、今や池川町の代表的施設となりつつあります。<http://www1.quolia.com/kidoriya/idx.htm>



土佐のハチキン娘(?)の美味しいレシピ

高知県夜須町



自然いっぱいの海の町「夜須町」で採れた新鮮な食材を活かし、自分たちでレシピ作りを実行している「食生活改善推進協議会自主活動部」の土佐のハチキン総勢19名のメンバーです。

まず取り組んだことは、夜須町を代表する特産物でもある「土佐金時芋」と地元で捕れる「シイラ」を使った料理の考案です。何度も何度も研究を重ね出来上がったのが、「おさつピザ」「おさつハルマキ」や「シイラのカラフル蒸し」「シイラの香草焼」「シイラの押し寿司」。また、

長太郎貝をもとにした「長太郎グラタン」等の料理も考案しました。

夜須町の地域おこしに一役買いたいと、これらのレシピを地元だけでなく町外へも「アピール」しています。地元食材にこだわり、もてなす心を持ちながら料理をする土佐のハチキングループの「おもてなし料理」。ぜひ、夜須町へ食べにおいでください。<http://www.yasu-kochi.jp/>

交流・連携通信

都市農村交流や交流相手の募集など地域間交流活動を紹介します。

棚田の保全活動

長野県小川村

小川村立屋地区は北アルプスを背景に棚田が美しい里山です。しかし、高齢化により棚田の耕作が困難になり荒廃が危惧されています。

そこで、森林保全をしているNPO法人信州フォレストワークが平成16年より棚田を借用し、お米作りを行っています。地元の方々に指導やお手伝いをして頂きながら、田植え、草取り、稲刈り、脱穀まで手作業で行いました。除草剤を使わず、はぜ掛け天日干しをしたお米は、味わいも格別でした。

さらに樹齢300年の「立屋の桜」の開花時に、ヨモギを摘んで杵つきの草餅をつくり花見に訪れた人々に味わっていただいています。今年のく



ら祭りには棚田で収穫した餅米で作ることから、地産地消がいっそう実践できます。<http://www.sfw.or.jp/>

アンテナショップ情報

地域の特産物が身近に購入できるアンテナショップやテナントを紹介します。

東村山市農産物直売所マップ

東京都東村山市



消費者が身近であり、生産者の顔が見えるという都市型農業の利点から、東村山市では庭先の直売所が多数あります。このような直売所で売られている安全で新鮮な農産物を、市内はじめ市外からもたくさんの方に利用していただき、消費者と生産者との交流を図り、相互の理解を深めることを目的に「農産物直売所マップ」を作成しました。

このマップには直売所リストをはじめ、直売だけではなく毎年市外からも問い合わせが多数寄せられる「芋掘り」「多摩湖梨・ぶどうのもぎとり」「ブルーベリーの摘み取り」などが体験できる農園の紹介や農業データ、

農産販売時期、イベント情報等を掲載しています。

東村山市役所産業振興課で配布していますので、このマップを手にご家族で四季折々の畑の様子、旬の野菜、色とりどりの花をぜひお楽しみください。

<http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/~kakukaweb/022000/index.htm>

地産地消の活動グループ「滑川ひかる市運営協議会」

富山県滑川市



ホタルイカ、海洋深層水のまちとして全国的に知られている滑川市に、昨年5月「滑川ひかる市」がオープンしました。

市内の農家34戸、11団体で、昨年4月に「滑川ひかる市運営協議会」を設立しました。アルプス農協の旧ガソリンスタンドをお借りし、毎週水・土曜日、8時から10時まで営業しています。

地元で採れた新鮮で安全な野菜などを地元で食してもらおうと会員一同張りきっています。朝収穫した新鮮な野菜はお客様に好評をいただいております。大半の商品が100円と購入しやすくなっています。

リニューアルオープン「旧正野薬店」

滋賀県日野町

江戸時代日野椀に代わって行商の有力商品となり、近江日野商人を発展に導くものに合薬がありました。その創始者が正野法眼玄三です。正野玄三が作った合薬は「万病感應丸」といい、医薬に恵まれない山間辺地の人や日野商人の長旅の道中薬として利用され、全国へ持ち歩くうちに有名になりました。

「万病感應丸」の大きな看板が掲げられ、日野の町並のシンボルとして親しまれている旧正野薬店が観光のアンテナとしてリニューアルオープンしました。店内では薬の資料を展示し、蔵内では「隠れ家」的な雰囲気のできる喫茶コーナーを設けています。

<http://www.biwa.ne.jp/~hino-to/>



わかやま喜集館

和歌山県



和歌山県はおいしい。行った人に聞くと必ずそう答えます。実は和歌山、醤油や金山寺味噌、鰹節などの発祥の地であり、和食の歴史上欠かせない場所なのです。どおりで日本人の心に染みこみはずです。

そんな和歌山のアンテナショップ、東京・有楽町にある「わかやま喜集館」では、花粉症に効果があるという「幻の果実じゃばら」を使ったじゃばらドリンクなど、話題の商品がずらりと並んでいます。ぜひお立ち寄り下さい。 <http://www.kishukan.com/>

● お問い合わせ先：わかやま喜集館

J R 有楽町駅前東京交通会館 B 1

TEL:03-3216-8000

● 営業時間：10時～19時（但し、日曜日10時～17時まで物産のみ営業） 祝・年末年始は休業

イベント情報

平成17年7～9月に全国各地で開催が予定されているさまざまなイベントを紹介します。記事を読んで興味を持たれた方は、ぜひ一度現地を訪れてみませんか。

まあぶフェスタ

北海道深川市

都市と農村の交流を目的に設置された「アグリ工房まあぶ」の開館記念イベントとして、毎年7月第2日曜開催が定着した夏らしさを迎えた一日を屋外で楽しむお祭りです。農業者などの屋台出店や屋外ステージでの催しなど、子供からお年寄りまで楽しめるイベントです。

ステージでは太鼓・民謡・バンド演奏、屋台では生産者による手打ちそばなど盛りだくさんです。

<http://www33.ocn.ne.jp/~maabu/>

- 開催日：7月10日（日）
- 開催場所：まあぶ公園
- お問い合わせ先：アグリ工房まあぶ

TEL:0164-26-3333



三陸・大船渡夏まつり

岩手県大船渡市



水中花火をはじめとする多種多様な約5千発もの花火と、まばゆい光やイルミネーションで飾られた海上七夕船団との音と光の競演、また港を照らす約80基の「かがり火」と洋上の「漁火」、そして幻想的な音楽とレーザー光線などが織り成す音と光のパフォーマンス「かがり火幻想夜」が見る人たちに感動を与えます。市民道中踊りもあります。

<http://www.city.ofunato.iwate.jp>

- 開催日：7月30日（土）（29日（金）前夜祭）
- 開催場所：大船渡港茶屋前岸壁ほか

- お問い合わせ先：大船渡商工会議所 TEL:0192-26-2141

大船渡市商工観光部観光物産課 TEL:0192-27-3111（内線114,115）

TX開業記念 きらめき守谷夢彩都フェスタ2005

茨城県守谷市

TX開業記念“きらめき守谷夢彩都フェスタ2005”は、つくばエクスプレスの開業を市民の方々とともに祝い、守谷市のイメージアップ及びPRを図ることを目的に、市民との協働により開催します。

この記念イベントは、特設ステージを利用しての芸能、音楽、踊りなどのステージショーや地場産品の販売や開発商品などの物販PRブースを集めたテント村、市民の方々に祝福されながらのステーションウェディング等々、非常に盛りだくさんな内容となっています。

<http://www.city.moriya.ibaraki.jp/machi/top.html>

- 開催日：8月27日（土）～28日（日）
- 開催場所：守谷駅前広場周辺
- お問い合わせ先：守谷市駅周辺まちづくり推進室 TEL:0297-45-1111（内線326）

利根沼田みのりの里スタンプラリー

群馬県

利根沼田地域7市町村のおいしい農産物を知ってもらい、産地をPRするとともに、これまで点として存在していた農産物直売所、観光農園、農家民宿、温泉等の各施設をネットワーク化し誘客するためにスタンプラリーを行います。

スタンプ3個でB賞、6個でA賞、10個で完走賞に応募でき、抽選により利根沼田地域の有名温泉や農家民宿の宿泊券、旬の農産物、特産品等の賞品が当たります。各ラリーポイントで無料で配布しているラリー専用台紙には、参加施設や地域の重要な文化財等が写真入りで紹介されており、利根沼田地域の奥行きある魅力を伝えています。<http://www.pref.gunma.jp/e/01/tn/index.htm>

- 開催日：6月1日～11月30日
- 開催場所：利根沼田地域7市町村（沼田市、片品村、川場村、月夜野町、水上町、新治村、昭和村）
- お問い合わせ先：群馬県利根農業事務所 TEL:0278-23-0188

The Starlight Jazz Garden「真夏のサンタ」

千葉県山田町

星空のもとでジャズ演奏に耳を傾けながら、カクテルを片手に楽しいひとときを過ごしてみませんか。（ジャズガーデンをはじめ、スターウォッチング、サンタパフォーマンスのアトラクションなどが開催されます。）

山田（やまだ）をサンタと読み替える発想から生まれたこのイベントは、ちょっとした夏のクリスマス気分を演出しています。主催はふるさと山田を楽しくしたい、そんな若者有志でつくる“やまだ元気隊”です。

<http://www.town.yamada.chiba.jp/>

- 開催日：7月30日（土）雨天の場合7月31日（日）
- 開催場所：橘ふれあい公園
- お問い合わせ先：山田町企画財政課内やまだ元気隊事務局 TEL:0478-78-2112



地曳きまつり

千葉県大網白里町



地曳きまつりは、平成11年に「町民手づくりのなつまつり」として始まり、今年で7回目を迎えます。九十九里浜のほぼ中央に位置する白里中央海水浴場を舞台に「地曳き網体験」、地域の伝統的な盆踊りである「ぼさま踊り」や近年広まりを見せている「よさこいソーラン」のコンテストが行われます（参加チームを広く募集しています。詳しくは実行委員会までお問い合わせ下さい）。

最後には約750発の「花火」が打ち上げられ、まつりを締めくくります。また、その中では海面上に打ち上げられる珍しい水中スターマインも見ることができます。

<http://www.town.oamishirasato.chiba.jp>

- 開催日：7月30日（土）予定
- 開催場所：白里中央海水浴場
- お問い合わせ先：大網白里町なつまつり実行委員会（大網白里町産業振興課内）TEL:0475-70-0356

有東木(うとうぎ)の盆踊

静岡県静岡市葵区

有東木の盆踊りは、国の重要無形民俗文化財に指定され、18世紀頃には始まっていたと考えられています。中世の風流芸能の名残をとどめ、男踊りと女踊りが別々に踊られることが特徴で、10の男踊りと、16の女踊りが伝わっています。歌の内容は、恋の歌や豊作を喜ぶものとなっており、伴奏は太鼓のみで、扇子、ササラ、コキリコなどの道具を持ち、女踊りは歌出しが入ります。

8月15日の最後には、道具についた飾りの紙の房などを燃やす先祖の送りがあり、「送り出し」と称して行進します。当日は、地域住民や観光客など多くの人で夜遅くまで賑わいます。

- 開催日：8月14日(日)～15日(月)
- 開催場所：東雲寺(とううんじ)
- お問い合わせ先：静岡市市民局文化スポーツ部文化財課 TEL:0543-54-2525



長尾山総合公園自然体験

福井県勝山市



長尾山総合公園では、自然とふれあえる様々な体験メニューを用意しています。

- 恐竜化石発掘体験(7/16～8/31の毎週土・日、9/17～9/19) ... 1億2千万年前の石を割り、化石を発見できます。
- カヌー体験(8月の毎週水曜日) ... 池で手軽にカヌー体験ができます。
- ツリークライミング(8月の毎週木曜日) ... 高さ約10mの木に登り自然の眺望を楽しめます。
- 「健康の日」ウォーキング(毎月21日) ... 美しい自然を眺めながら約1時間のウォーキング。

<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

- 開催場所：長尾山総合公園
- お問い合わせ先：長尾山総合公園管理棟 TEL:0779-88-8777

あわら北潟湖畔観月の夕べ

福井県あわら市

「和敬、和楽の心」を基本理念に、夏の名残りとお秋のはじまりを感じる一夜に、遠くを眺める加越連山を背にした仲秋の月、湖面に映える月光、幻想的な灯かりの風情を愛でるイベントです。

自然景観豊かな北潟湖畔を会場に観月うまいもん市、ふる里観月茶屋でにぎわうなか、ライトアップされたアイリスブリッジと5千個の灯籠の灯りに照らされた水上ステージで芸能祭が行われ、湖面に映える迫力満点の花火大会でフィナーレを迎えます。<http://www.city.awara.fukui.jp>



- 開催日：8月27日(土)
- 開催場所：北潟湖畔サイクリングパーク
- お問い合わせ先：あわら市教育委員会文化学習課 TEL:0776-73-8042

飛騨小坂力持小太郎火祭り

岐阜県下呂市

「飛騨小坂力持小太郎火まつり」は、裸若衆が2台の仁王御輿（みこし）を担ぎ、街を練り歩く勇壮なお祭りです。昔、川を流れていた不動明王の像を小太郎が担いで助けたことにより、小太郎が力持ちになったという伝説から始まりました。八神将と呼ばれる地元から選ばれた8人の青年が御輿の上に乗し、御輿を指揮してお祭りを盛り上げます。クライマックスでは、手にした者は力持ちになり学業成就などの御利益があるといわれる「力布」と呼ばれる手ぬぐいが、八神将によって観衆に撒かれるという非常にユニークな祭りです。

地元下呂市小坂地区を中心とした地域住民や市内のダンスチームなど約300名の参加者によって繰り広げられます。また、祭りの最後には花火大会もあるため、お盆の時期に開催されるこのお祭りは毎年約3,000名の皆さまに楽しんでいただいています。（写真は表紙に掲載）<http://www.city-gero.jp/kankou/>

- 開催日：8月14日（日）
- 開催場所：下呂市小坂町
- お問い合わせ先：下呂市役所観光商工部観光課

「食」と「環境」のIT農業全国大会

愛知県豊橋市

愛知県の東南部にある豊橋田原渥美地域では、ITを上手に活用することにより、人と地域にやさしい持続可能な農業の創造を目指しています。その取り組みの一環として「『食』と『環境』のIT農業全国大会」を開催します。この大会は、「第17回農業情報ネットワーク全国大会」、「第3回豊橋田原渥美IT農業推進シンポジウム」、「第1回精密農業アジア会議」の3つの行事で構成されます。最新の農業技術や情報の紹介、専門的な研究発表だけでなく、女優・浜美枝さんの講演や消費者向けの農業講座、地元農産物の展示・販売なども行います。どなたでもお気軽にご参加ください。

- 開催日：8月5日（金）～6日（土）
- 開催場所：ホテル日航豊橋
- お問い合わせ先：豊橋市農政課 TEL:0532-51-2471

中山道柏原宿やいと祭

滋賀県米原市



地元柏原区が平成7年から開催している住民手づくりの祭りです。名産であるやいと（もぐさによるお灸）体験やフリーマーケット、特産品販売などが行われるほか、人力車も行き来し、江戸時代に栄えた柏原宿の賑わいが再現されます。住民を中心とした地域活性化イベントとして定着しつつあります。<http://www.city.maibara.shiga.jp>

- 開催日：7月中旬
- 開催場所：滋賀県米原市柏原・柏原宿
- お問い合わせ先：米原市役所商工観光課 TEL:0749-58-2227

ひまわり祭り

兵庫県南光町

「ひまわり祭り」では、町内7カ所に160万本のひまわりが咲き乱れます。期間中は、花火大会（7月24日（日））、世界のひまわり園、ひまわり迷路、魚釣り大会などを計画しています。なかでも花火大会は、夜空の花火が咲き乱れるひまわりを映し出す様はととも幻想的です。

また、ひまわり迷路はスポーツ公園周辺に2カ所あり、子供達に毎年人気を集めています。世界のひまわり園では、約35種類のひまわりを間近で見ることができます。オレンジ・茶・赤・紺色など、ひまわりは黄色だと思っている方、ぜひ一度南光町へ来て下さい。<http://www.town.nanko.kouiki.sayo.hyogo.jp/>



- 開催日：7月16日～7月31日
- 開催場所：南光町スポーツ公園周辺及び町内7箇所
- お問い合わせ先：南光町役場総務課 TEL:0790-78-0101

はんざき祭

岡山県真庭市

岡山県北真庭市には、オオサンショウウオの生息地が多くあります。（イベント名になっている“はんざき”とはオオサンショウウオのことです。）

8月7日は前夜祭で、お祭り広場を中心にお子様向けのイベントが行われます。8月8日は、大きなはんざき山車と華やかな踊り子が道中、お囃子にのせて温泉街を練り歩きます。お楽しみ抽選会、歌謡ショー、花火大会も行われます。

- 開催日：8月7日（日）～8（月）
- 開催場所：湯原温泉街
- お問い合わせ先：湯原の里振興プロジェクト委員会
TEL:0867-62-2526



ひわさうみがめフェスティバル

徳島県日和佐町



アカウミガメが上陸産卵する事で有名な日和佐町では、ウミガメに感謝するお祭りとして「うみがめ祭り」を開催しています。マスコットのカレッタ君やカレンちゃん、浦島太郎や乙姫さんなどによる「竜宮パレード」や「子ガメの放流」「花火大会」などが行われます。

翌日は「うみがめトライアスロン」が開催され、全国から多くのアスリートが集まってきます。国内トップクラスの選手も参加しており、夜はウミガメの産卵観察、昼は地元特産市などを散策しながら応援と、どこよりも暑い夏を日和佐でお過ごし下さい。

<http://www.nmt.ne.jp/~hiwasa/triathlon/index.htm>

- 開催日：7月16日～17日（日）
- 開催場所：日和佐町内（大浜海岸・南阿波サンライン他）
- お問い合わせ先：日和佐町企画観光課 TEL:0884-77-3616

第8回かしま伝承芸能フェスティバル

佐賀県鹿島市

鹿島市は有明海に面したところにあり、人口約3万3千のまちです。このまちでは、浮立などの伝承芸能が数多く保存継承されています。かしま伝承芸能フェスティバルは、これら古くから伝わる伝承芸能の保存継承や情報発信、地域活性化を目的として開催しています。開催場所は、日本三大稲荷のひとつ祐徳稲荷神社で、毎年県内外から多くの観客で賑わいます。今回で第8回目を迎え、鹿島市の秋のイベントとして定着しています。（写真は表紙に掲載）<http://www.city.kashima.saga.jp/>

- 開催日：9月11日（日）
- 開催場所：祐徳稲荷神社
- お問い合わせ先：鹿島市商工観光課 TEL:0954-63-3412

おんだ祭り

熊本県阿蘇市

「御田植祭」(おんだ)と呼ばれるこの祭りは、阿蘇大明神が阿蘇開拓と農耕の道をおひろめになった御徳をたたえ、年々の豊作を祈るもので、藩政時代には細川侯の名代が参向する唯一の祭りであり、明治以降も本社の例祭とされ、年に一度御仮殿に大規模な神幸をされる重要な祭りです。

神幸式には、お伴として神々の昼飯持ちである白衣の宇奈利(うなり)、獅子、田楽、早乙女、四基の御輿、田植人形などが、古式ゆかしく神幸門から出立、阿蘇の田畑を巡り、途中ではおんだ歌が歌われ還御門に戻ってきます。青々とした阿蘇の田園の中をゆったりと進む神幸絵巻は、盛夏の阿蘇谷に、えにしのかげろうを見るような感激を与えてくれます。(写真は表紙に掲載) <http://www.city.aso.kumamoto.jp/content6/class5-a-1.php>

- 開催日・開催場所・お問い合わせ先：7月26日(火) 国造神社 TEL:0967-22-4077
7月28日(木) 阿蘇神社 TEL:0967-22-0064

山鹿灯籠まつり

熊本県山鹿市

山鹿灯籠まつりは、毎年8月15日～17日の未明にかけて行われます。「奉納灯籠」の飾りつけで始まり、女性だけによる艶やかな「千人灯籠踊り」で最高潮に達し、「上がり灯籠」でクライマックスを迎えるこのまつりは、全国的にも類をみない「灯りの祭典」です。

頭に灯籠をのせた女性たちが町中を踊り歩き、町はゆらめく光に満ちた異次元空間に……。期間中は県内外から多くの人々が訪れ、しばし幻想の世界に酔いしれます。

<http://www.city.yamaga.kumamoto.jp>

- 開催日：8月15日(月)～16日(火)
- 開催場所：中心市街地
- お問い合わせ先：山鹿市役所観光振興課



第13回なは青年祭

沖縄県那覇市



「なは青年祭は、那覇市内で活躍する自治会青年部等の青年団体が、それぞれ継承している伝統芸能などを広く一般の皆さまに披露し、団体相互の交流を図るとともに、地域・那覇市のまちおこしの一助とすることを目的に開催されています。今回で13回を数え、年々県内外から多くの来場者が集まり、那覇市を代表する祭りの一つとして定着しています。

那覇市の海の玄関口「泊港」緑地にて9月10日(土)より2日間開催します。皆さまのご来場、心よりお待ちしております。

- 開催日：9月10日(土)～11日(日)
- 開催場所：泊緑地(那覇市泊ふ頭内)
- お問い合わせ先：那覇市青年団体連絡会事務局(那覇市教育委員会生涯学習課健全育成室内)

以上の情報の収集に当たりましては、都道府県及び市町村関係課の多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

あなたの地域の活動も「立ち上がる農山漁村」に応募してみませんか

■ 「立ち上がる農山漁村」って何？

農山漁村では過疎化や高齢化で活力が低下している地域もありますが、その一方で農林水産業を核として自分たちの地域の力で活発な取り組みを行い、地域を元気にしている人たちがいます。そういった事例を首相官邸で開催される有識者会議で「立ち上がる農山漁村」として選定し、「地域自ら考え行動する」意欲あふれた取り組みを推進するために全国に発信・奨励しています。

もっとたくさん出会いたい。農山漁村のこんな取り組み。

- 農村振興に熱い思いを持ち、独自の経営感覚で推進している事業。
- 地域資源に注目し、大きく活かしている活動。
- 今までの常識にとられないユニークな戦略。
- 地域の経済を元気にし、雇用の創造などに貢献している取り組み。

■ 「立ち上がる農山漁村」は有識者会議で選ばれています

農林水産業や農林水産物、農山漁村に造詣が深く、それに関係する活動をされている各界の有識者によって構成される有識者会議で「立ち上がる農山漁村」は選ばれています。

この会議では「立ち上がる農山漁村」の成功事例の分析なども行い、今後の地域活性化に役立てていきます。



平成16年6月14日(首相官邸大会議室)
第一回「立ち上がる農山漁村」有識者会議が開催されました。

有識者会議委員、細田内閣官房長官、
亀井農林水産大臣、金子特命担当大臣が
出席。立ち上がる農山漁村30事例(21
ページ)が選定されました。

平成17年3月17日(首相官邸大会議室)
第二回「立ち上がる農山漁村」有識者会
議では成功要因等について話し合われま
した。

有識者会議委員、小泉総理、細田官房
長官、島村農林水産大臣が出席。「立ち
上がる農山漁村」選定30事例の成功要因を分析し、どのように政府全
体の施策や民間の活動に活用するか、他の地域へ応用していくか等
について話し合われました。



有識者会議委員メンバー

- アン・マクドナルド 委員
エッセイスト
- 今村 司 委員 日本テレビ営業局副部長
- 小泉 武夫 委員 東京農業大学教授
- 白石 真澄 委員 東洋大学助教授
- 長岡 杏子 委員 TBSアナウンサー
- 永島 敏行 委員 俳優
- 丹羽 宇一郎 委員
伊藤忠商事代表取締役会長
- 林 良博 委員 東京大学教授
- 三國 清三 委員
オテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ

■ 「立ち上がる農山漁村」への取り組み

● 平成16年6月

福本農林水産政務官が愛媛県内子町を訪問しま
した。農家が町内産の農産物や加工品を効率的に
出荷販売するため携帯電話を利用した斬新な販売
管理システムを視察しました。

● 平成16年7月

構原町森林組合が取り組んでいる活動(FSC森
林認証と風力発電による山村づくり)等の活動を
亀井農林水産大臣が視察しました。地域資源を活
かし力強い地域づくりに取り組む農業者や林業者と
意見交換を行いました。



平成16年8月

林良博座長、今村司委員、アン・マクドナルド委員、長岡杏子委員が北海道中札内村の(有)中札内村レディースファームと北海道小清水町の(有)シナジーこしみずを訪れました。

(有)中札内村レディースファームは、女性を中心としたスタッフで通常以上に徹底した使用管理・衛生管理で日本で唯一、加熱殺菌を行わない無殺菌牛乳(「想いやり牛乳」)を製造・販売し、地域の雇用も創出しています。

(有)シナジーこしみずは、町の地域資源である「ゆり」を観光資源として活用、「ゆりの郷こしみず リリーパーク」を開設、さらにゆり栽培農家自ら110品種、700万本の植栽を行ない、球根・切り花の栽培等を行なっています。7月から9月の開園期間中は全国から約7万人が訪れ、地域の活性化に貢献しています。



左：(有)中札内村
レディースファーム



右：シナジーこしみず

平成16年9月



小泉武夫委員と白石真澄委員が富山県立山町を訪問。農事組合法人食彩工房たてやまの活動を視察しました。

農事組合法人食彩工房たてやまは平成11年の設立以後、「手づくり、ほんもの、無添加」と「純粋で安全」な加工品づくりと販売を進めてきました。その中でも「たてやま権現かきもち」は立山の自然の風で乾燥させた手づくりのかき餅で富山県ふるさと認証食品としても認証を受けています。他にものし餅、大福餅、赤飯、漬物等の商品の販売。地元小学校の社会体験学習の受け入れも行ない、食育の普及にも取り組んでいます。

平成16年11月

三國清三委員が岐阜県郡上市の(株)明宝レディースと愛知県安城市の水土里ネット明治用水を訪問。活発な意見交換を行いました。

(株)明宝レディースは、農家の女性たちが地元産の完熟トマトを使い、添加物を一切使わない手作りトマトケチャップを製造・販売。また地元の農産物を提供する「おかみさん」の店を開店するなど経営の多角化を進めています。



(株)明宝レディース



水土里ネット明治用水

水土里ネット明治用水は、農業用施設を活用し、地域の環境保全グループ等と連携して子供達の農業体験などの実施や農業用水の水質改善のための森林整備活動にも取り組んでいます。

平成17年2月

永島敏行委員が鹿児島県串良町の柳谷自治公民館を視察しました。



柳谷自治公民館は、地元高校生の力と遊休農地を活用したから芋栽培、集落民の労働奉仕による生ごみや畜産糞尿の醗酵処理用土着菌作りなどの活動を通じて集落のつながりを再生し、家畜糞尿の悪臭抑制など、地域の問題を解決してきています。

平成17年3月



永島敏行委員が実行委員長を務める青空市場が中央区築地で開催されました。

青空市場は「生産者のチャレンジショップ」として生産者が直接、大都市の消費者と触れあひながら販売・交流することを目的に開催され今回で4回目となります。

会場では各地の農山漁村の生産者が、また「立ち上がる農山漁村」からは北海道帯広市の川西農協、岐阜県郡上市の名宝レディース、京都府美山町振興会のほか多数が出展し、消費者と生産者との交流が行なわれました。

平成17年1月13日

首相官邸大会議室にて「農業・農山漁村の明日を語る会」が開催。小泉内閣総理大臣が出席し、「立ち上がる農山漁村」からは北海道黒松内町、滋賀県愛東町、島根県益田市西いわみ農業協同組合、愛媛県内子町の(株)内子フレッシュパークからりが参加し意見交換を行いました。



■ 「立ち上がる農山漁村」の広報活動

「立ち上がる農山漁村」の活動が各種シンポジウムで発表されます。

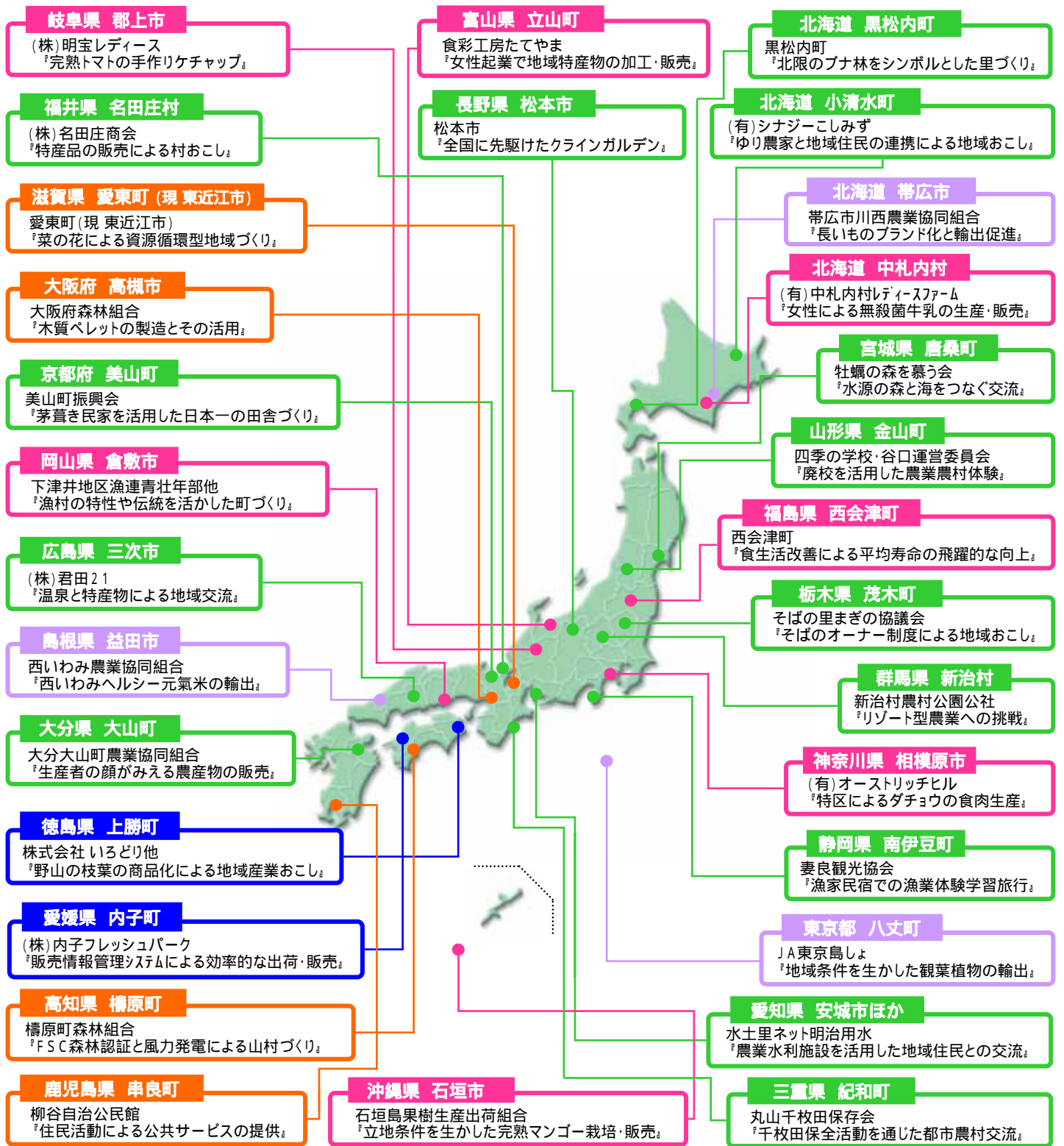
東京大学弥生講堂(平成16年9月11日)

農林水産省と(財)農学会の主催により「女性による地域づくり」をテーマにシンポジウムを開催。女性を中心にして成功した事例として「食工房たてやま」など「立ち上がる農山漁村」の4つの活動が発表されています。

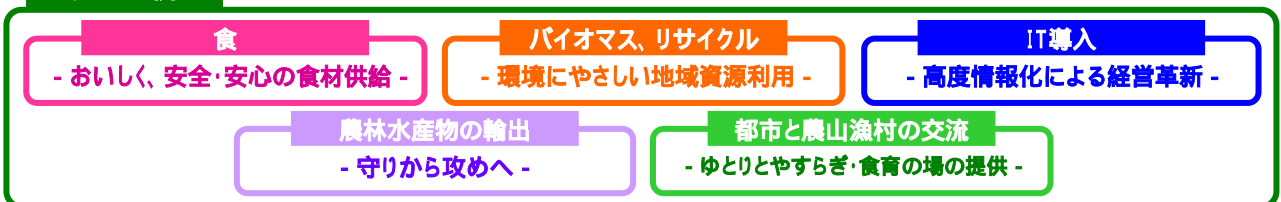
名古屋市天白区文化小劇場(平成16年11月18日)

東海農政局の主催で『食』を活用した農山漁村の活性化をテーマに「立ち上がる農山漁村」のシンポジウム(イン名古屋)が開催されました。有識者会議委員である三國清三氏による基調講演の他、パネルディスカッションでは「立ち上がる農山漁村」に選定された「明宝レディース」の本川代表や「そばの里まぎの協議会」の石川代表が参加しました。

「立ち上がる農山漁村」選定事例



凡 例



その活動がホームページに掲載され、マスメディアでも紹介されています。さらに新しいビジネスパートナーとの出会いや販路の拡大など新展開も考えられます。

「立ち上がる農山漁村」に選定されると当ホームページにその活動が掲載され、全世界の人々がその活動を知ることができます。また有識者の視察やシンポジウム等が新聞等により報道されたり、政府広報番組「新ニッポン探検隊!」「グッドモーニングジャパン」や、政府広報誌「Cabiネット」等のマスメディアで「立ち上がる農山漁村」に選定された取り組みも数多く紹介されています。そのことによって新しいビジネスパートナーとの出会いや販路の拡大など新展開の可能性もあります。

■ あなたの地域も「立ち上がる農山漁村」に応募してみませんか

2005年も「立ち上がる農山漁村」の事例を募集します。

現在、地域を今より元気にするために農林水産業をベースにした新しい取り組み、成功例を私たちにご紹介ください。募集要項については、下記窓口にて配付しています。(締め切り日：平成17年7月29日(金))

「立ち上がる農山漁村」募集要項配布窓口一覧

ブロック	担当都道府県	募集要項の配布窓口
北海道	北海道	北海道 農政部 農村設計課 農村活性化グループ 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目 (電話)011-231-4111 (FAX)011-232-0027
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	東北農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1仙台合同庁舎 (電話)022-261-6734 (FAX)022-715-8217
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、長野、山梨、静岡	関東農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館 (電話)048-740-0036 (FAX)048-740-0082
北陸	新潟、富山、石川、福井	北陸農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒920-8566 石川県金沢市広坂2-2-60金沢広坂合同庁舎 (電話)076-232-4531 (FAX)076-263-0256
東海	愛知、岐阜、三重	東海農政局 農村計画部 農村振興課 農村資源利活用係 〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2 (電話)052-223-4630 (FAX)052-220-1681
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	近畿農政局 農村計画部 農村振興課 農村資源利活用係 〒602-8054 京都市上京区西洞院通り下長者町下ル子風呂町 京都農林水産総合庁舎 (電話)075-414-9050 (FAX)075-451-3965
中国・四国	鳥取、島根、岡山、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知	中国四国農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒700-8532 岡山県岡山市下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎 (電話)086-224-9416 (FAX)086-227-6659
九州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島	九州農政局 農村計画部 農村振興課 農村整備計画係 〒860-8527 熊本県熊本市二の丸1-2 熊本合同庁舎 (電話)096-353-3561 (FAX)096-359-7321
沖縄	沖縄	沖縄総合事務局 農林水産部 土地改良課 地域資源係 〒900-8530 那覇市前島2-21-7 カサセン沖縄ビル (電話)098-866-0095 (FAX)098-864-2624

立ち上がる農山漁村の取り組みは、ホームページ (<http://www.maff.go.jp/tatiagaru/newpage9.htm>)にて紹介しています。



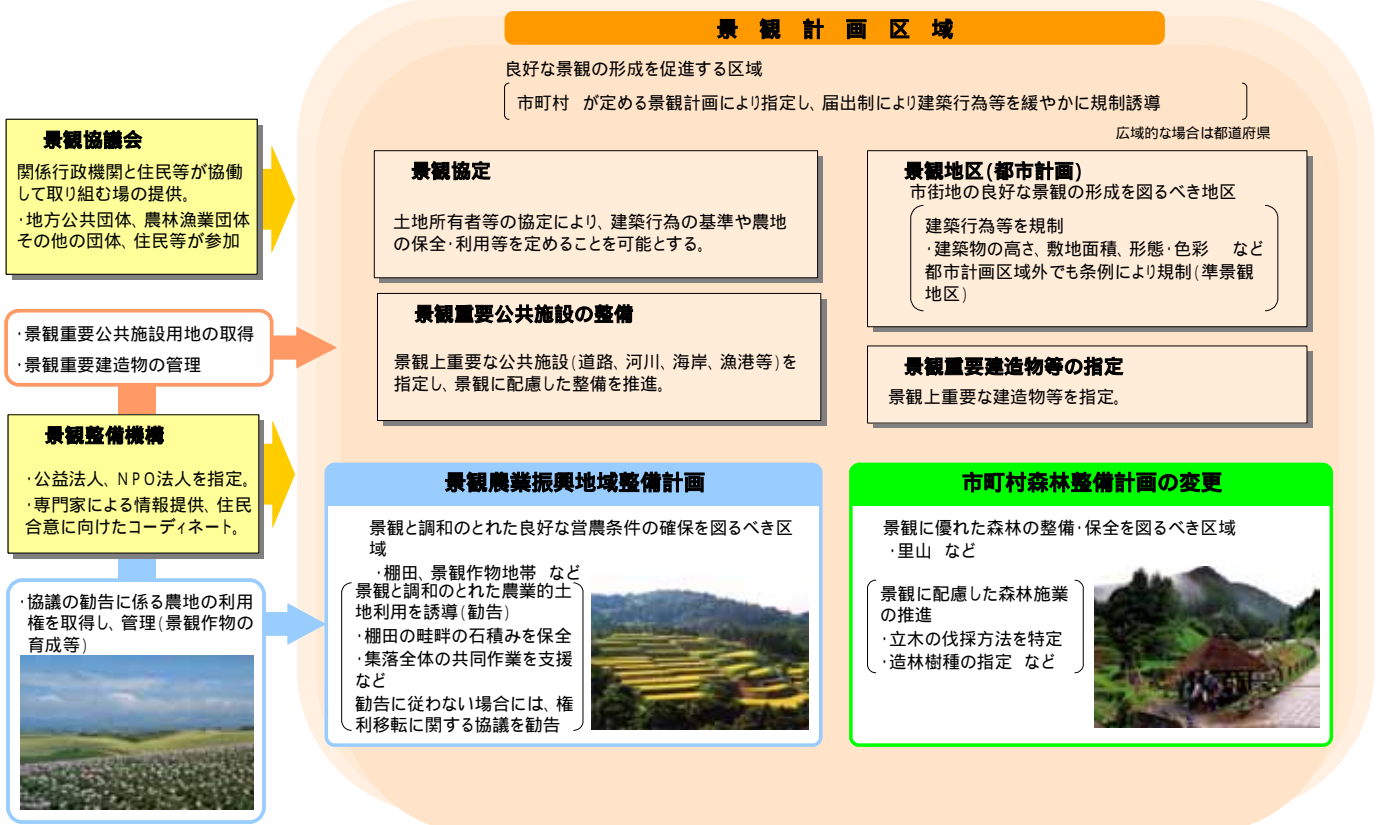
美しいふるさとづくりへ向けて ～ 景観農業振興地域整備計画を策定しませんか～

近年、社会の成熟化に伴い国民の価値観も経済的な充実から心の豊かさの向上へと変化し、美しい街並みや自然豊かな農村景観が求められています。

平成16年6月、国土交通省・農林水産省・環境省の共管で制定された「**景観法**」は、都市、農山漁村等における良好な景観の形成を促進するため、良好な景観の形成に関する基本理念や国等の責務を定めるとともに、**景観計画**を策定し、景観計画区域における良好な景観の形成のための規制や、景観整備機構による支援等所要の措置を講ずる我が国で初めての景観についての総合的な法律です。

具体的には、景観行政団体（都道府県、指定都市等又は都道府県知事と協議して景観行政をつかさどる市町村）は、良好な景観を保全・形成する必要があると認められる土地の区域について、**景観計画**を定めることができるとされ、**景観計画**においては、景観計画の区域 良好な景観の形成に関する方針 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針 等を定めるとされています（下図参照）。なお、**景観農業振興地域整備計画**を策定する場合は、「景観農業振興地域整備計画に関する基本的な事項」を定めておく必要があります。

景観法の概要



- 美しい農山村づくりにより地域振興を図りたい
- 耕作放棄地を解消したい
- 景観と調和のとれた農業生産基盤整備を行いたい
- 地域の歴史文化を形成する土地改良施設を保全したい
- 地域が有する固有の文化を残したい
- 集落景観の保全に努めたい

都市との交流による
棚田の保全
(三重県紀和町)



など、地域のさまざまなニーズに対して、農林水産省では、[景観農業振興地域整備計画](#)の策定を通じて、美しい農山漁村づくりを支援します。

詳細については、各地方農政局農村計画部農村振興課、または農林水産省農村振興局農村政策課までご連絡下さい。

事務局からのお知らせ

● お詫びと訂正

季刊「新往来」第16号(平成17年3月31日)のp13「太秋柿(たいしゅうかき)アイスクリーム」のホームページアドレスに誤りがありました。正しくは、<http://www.h7.dion.ne.jp/~fukuma/>です。お詫びして訂正いたします。

● 皆様からの情報提供をお待ちしております

「交流情報誌 季刊 新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など、全国に向けて発信したい情報がありましたら、ぜひご連絡下さい。

なお、次号(第18号)につきましては、平成17年9月中旬の発行を予定しております。7月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに記入様式に必要事項をご記入の上、各都道府県又は下記の編集・発行先までお送り下さい。記事に関連する写真・イラストがありましたら併せて添付して下さい。記入様式をご要望の場合は、お手数ですが下記の編集・発行先までご連絡下さい。

皆様からお寄せいただいた情報についてはできる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。

● 編集後記

景観法についての特集はいかがでしたでしょうか。

今年のゴールデンウィークは新幹線に2時間立ちっぱなしの帰省でしたが、そんな疲れも蒼々とした山々と、水を湛えたばかりの田んぼに囲まれた中での食事で吹き飛びました。見慣れた風景ですが、新鮮に、また懐かしく映りました。



編集・発行

農林水産省 農村振興局 農村政策課 (担当:矢野)

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

TEL:03-3502-8111(内線4619)

FAX:03 3595-6340



- 農林水産省のホームページでは、季刊「新往来」や都市と農山漁村の共生・対流など、様々な情報を掲載しております。ぜひご覧下さい。
農林水産省 (<http://www.maff.go.jp>) 農村 都市農村交流の総合案内(季刊 新往来)
(<http://www.maff.go.jp/nouson/seisaku/sinourai/index.htm>)